



釣り愛好家
沼澤哲朗さん（一の関）

釣り愛好家 沼澤さんの楽しみ方

鮎の友釣りを始めたきっかけは、最上小国川という素晴らしい環境を肌で感じたいという思いからでした。現在は休日仲間と一緒に鮎を釣り、喜びを分かち合うのが一番の楽しみです。

最上小国川は比較的安全な釣り場で川に入りやすく、親しみやすい川だと思います。7月から9月いっぱいまでは鮎の友釣りが楽しめます。鮎の友釣りは大きく分け、おとり鮎を引きポイントまで操作する方法と、おとり鮎を自由に泳がせる方法があります。流れの速さなど、川の状態に合わせて使い分けます。

釣り愛好家のみなさんには、これから自然環境を大切にしながら、釣りを楽しんでいただきたいです。これから鮎釣りを始めたい方は、まずは経験者の方から教わりながら、釣った瞬間の感動を味わってください。鮎釣りの世界は奥が深く、面白いですよ。



発掘!
ふながたのお宝

鮎釣りをしてみませんか

ふながたの「お宝」。舟形町のもの、人、場所などをシリーズで紹介いたします。第11弾は「鮎釣り」です。



フィッシュパスアプリ

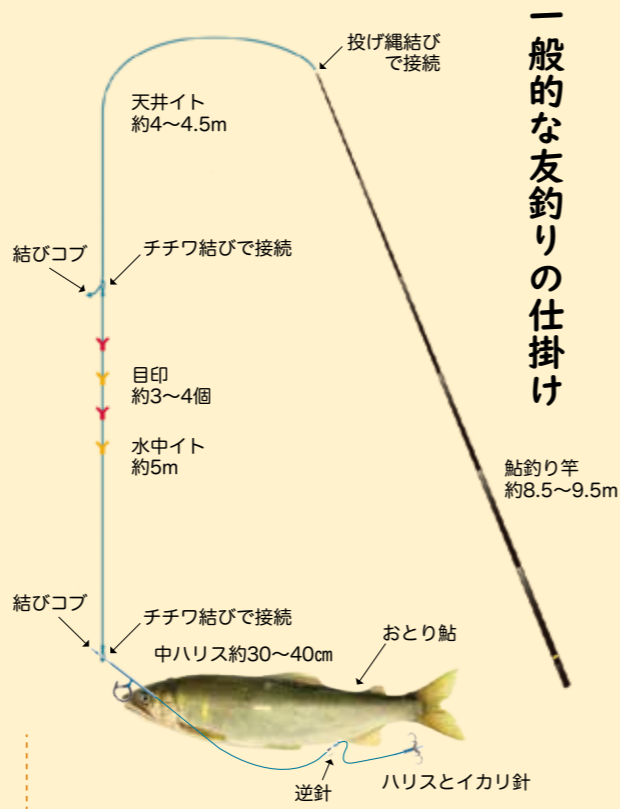


鮎釣券と組合員証

いざ、鮎釣りへ

鮎釣りをするには遊漁券が必要です。遊漁券は町内でも購入できるほか、フィッシュパスアプリを使用すれば、スマートフォン上で購入することも可能です。

友釣りの仕掛けとなるおとり鮎は、魚病防止のため小国川漁業協同組合が指定している販売店で購入してください。清流最上小国川の美しい自然に囲まれて過ごす素敵なひととき。鮎釣りの魅力を体験してみてください。



一般的な友釣りの仕掛け

鮎釣り竿 約8.5~9.5m

「鮎釣券とおとり鮎」取扱店

店名	電話番号	おとり鮎
渡辺商店	(32)3129	—
ファミリーマート 舟形町中央店	(32)8041	—
小国川観光	(32)3280	○
下山久伍	(32)3309	○
鮎場あたご	080(1688)8196	○
阿部義春	(33)2102	○
八鍬勝昭	(33)2739	○



▼問い合わせ/
小国川漁業協同組合 ☎(32)2892
小国川漁業協同組合 ホームページ

最上小国川を守る

小国川漁業協同組合は、鮎の増加を図ることで自然資源の拡大に努めていて、県や町の補助を受けながら毎年約50万尾の稚鮎の放流を行なっています。また、河川環境美化を目的に、「最上小国川クリーンアップ大作戦」を毎年実施するなど、川を守るために様々なことに取り組んでいます。

こうした取組みの結果、最上小国川は毎年約200万尾の鮎が天然遡上する貴重な生育環境となっています。

この大切な自然環境をこれからも守るため、鮎釣りを楽しむ際は、釣りの仕掛けや空き缶などのごみを川に捨てない、堤防や土手は崩さないなど、環境に配慮しましょう。



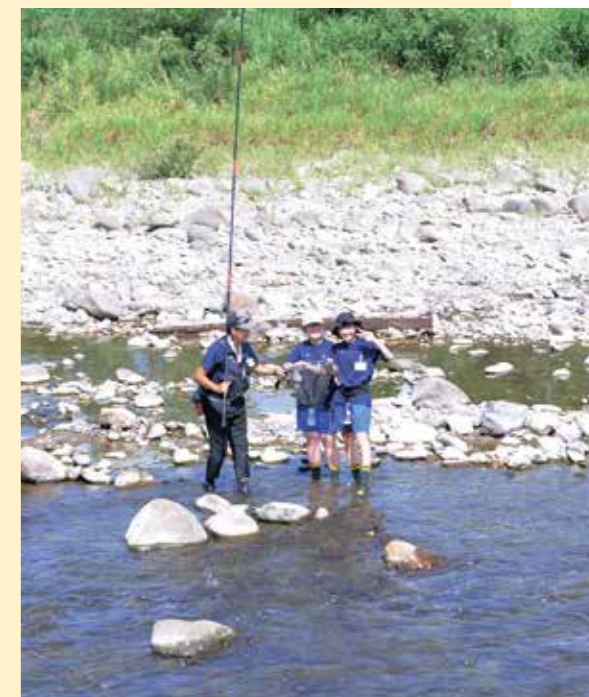
全国の鮎釣り大会の舞台に

鮎釣り解禁の7月1日をかきわきりに、釣り客たちが大勢訪れるほか、最上小国川を会場とした釣り具メーカーなどが主催する鮎釣り大会が開催されます。また、全国の高校生を対象とした「最上小国川鮎釣り甲子園大会」や、町主

鮎の友釣りの格言

- 一に場所
- 二に腕（仕掛け）
- 三におとり

催の舟形中学校の生徒などを対象とした鮎釣り体験講座が開催されています。なお、最上小国川鮎釣り甲子園大会は舟形町と最上町で交互に会場を変更し開催されています。鮎釣りのために全国から多くの人が訪れることで、町のにぎわいにも繋がっています。



昨年8月にアユパークで行われた鮎釣り体験講座